

# 1998年度日本液晶学会通常総会議事録

日時：平成10年10月14日（水） 13時10分より

場所：千里ライフサイエンスセンター（豊中市）

出席者：出席者103名，委任状提出者199名

添付資料

## 1. 1998年度事業中間報告（総務担当理事：小出直之氏（東京理科大学））

総会配布資料に基づき以下の事項が報告された。（詳細は添付資料参照）

- 1) 本会の目的を達成するために行われた諸事業の実施状況が報告された。なお、配布資料の一部に追加修正がなされた。
- 2) 定期刊行物の編集・発行  
本学会誌「液晶」の発行実績および予定が報告された。
- 3) 国際交流事業の実施状況および本会のILCSへの加盟が報告された。
- 4) 会員の増強  
会員増強のための諸事業について報告された。
- 5) 電子媒体の利用の現況  
本会ホームページの開設および本会諸MLの作成が報告された。
- 6) その他  
当期の本学会務の実施にともない、携わった役員等および開催された会議等に関する報告がなされた。

以上の諸報告事項は異議無く承認された。また、これらは中間報告であり、最終的な当期の報告は次期通常総会に報告することが承認された。

## 2. 1998年度収支中間報告（財務担当理事：近藤昇一氏（東京理科大学））

総会配布資料に基づき以下の事項が報告された。

- 1) 本会設立に伴う収支案件を含む収支決算書（案）（自平成9年9月1日―至同年12月31日）が提案され、内容の説明がなされた後承認された。（詳細は添付資料参照）
- 2) 平成10年1月1日より同年8月31日の間の収支に関わる収支計算書（案）が報告され、内容の説明がなされた。（詳細は添付資料参照）
- 3) 平成10年8月31日現在の本会財産目録および貸借対照表について報告があり、内容の説明がなされた。（詳細は添付資料参照）

報告事項（2,3項）は異議無く承認された。また、これらは中間報告であり、最終的な当期の報告は次期通常総会に報告することが承認された。

## 3. 1999年度事業計画（総務担当理事）

総会配布資料に基づき1999年度事業計画案が説明され、承認された。（詳細は添付資料参照）

また、会誌の発行経費に関して、総務担当理事としての見解が表明された。

## 4. 1999年度予算案（財務担当理事）

総会配布資料に基づき1999年度収支予算書（案）が説明され、承認された。また、本会の法人化にかかわる積立金について、現状の説明がなされ、更なる増額の必要性が

あるとの見解が表明された。

(詳細は添付資料参照)

## 5. 1999年度(第2期)役員選任(総務担当理事)

本会正会員による選挙の結果をふまえて、1999年度(第2期)会長および役員案が提案され、異議無く承認された。

ここに次期役員として、

### 会長

小林駿介(山口東京理科大学)

### 理事(24名)

赤羽正志(長岡技術科学大学), 池田富樹(東京工業大学), 石川新三郎(松下電器), 内田龍男(東北大学), 置田雄二(鳥取三洋電機), 女川博義(富山大学), 甲斐昌一(九州大学), 梶山千里(九州大学), 加藤隆史(東京大学), 小出直之(東京理科大学), 坂本正典(東芝), 澤田信一(チッソ), 高津晴義(大日本インキ化学工業), 竹内安正(JSR), 竹添秀男(東京工業大学), 谷千束(日本電気), 烏海弥和(東京大学), 苗村省平(メルク・ジャパン), 永田光夫(セイコーエプソン), 枅川正也(シャープ), 松嶋欽爾(大日本印刷), 向尾昭夫(日立製作所), 横山浩(電子技術総合研究所), 吉野勝美(大阪大学)

### 監事(2名)

木村初男(福井工業大学), 松本正一(液晶技術情報研究所)

の諸氏が選任された。

## 6. 会則の変更(議長)

本会会則第21条, 「この学会の役員の任期は1年とし, 再任を妨げない。ただし, 連

続2期を越えてはならない。（以下略）」，を以下のように変更することが提案され、承認された。

「この学会の役員任期は1年とし、再任を妨げないが、連続2期を越えてはならない。ただし、会長に選出される場合にはこの限りではない。（以下略）」

以上

---

2003年2月1日 体裁更新

# 1. 1998年度事業中間報告

## 1. 事業の状況

本会の目的を達成するため、次の事業を実施した。

### 1) 研究会・講演会・討論会・講習会などの開催。

行 事 名	開 催 月 日	場 所	参加者数
(1) 本部行事 設立総会 1998年サマースクール 1998年日本液晶学会講演会 1998年日本液晶学会討論会 (予定)	9月25日 7月30日 8月1日 10月12日 10月13日 15日	東京工業大学大岡山キャンパス 蔵王・ホテル蔵王 千里ライフサイエンスセンター 千里ライフサイエンスセンター	122
(2) 研究フォーラム行事 液晶化学・材料研究フォーラム 講演会「实用液晶材料の開発事例と将来展望」 物理・物性研究フォーラム「非平衡輸送現象とカオス理論：基礎と応用」 「モードカップリング理論の基礎と複雑系(ガラス：ゲル)への応用」 LCDフォーラム「液晶ディスプレイ - がCRTモニター市場に食い込むには - 動画表示の観点から -」 液晶フォトンクス・光デバイス研究フォーラム入門講座「光と液晶 液晶の新たな展開を求めて」	6月18日 7月13日 17日 8月18日 21日 8月28日 8月28日	東京・電通生協会館 九州大学工学部 九州大学工学部 東京・日本化学会館 東京工業大学長津田キャンパス	76 22 24 110 128
(3) 共催・協賛行事 第1回JLCS-ALCOM講演会 東京工業大学研究・情報交流センター・共同研究のための萌芽的研究シンポジウム「液晶材料創製をめざした新現象の発見と応用」 1998年東工大・液晶研究発表会 AM-LCD98	‘97年11月17日 ‘97年12月3日 5月15日 7月9日	東京：日本化学会館 東京工業大学長津田キャンパス 東京工業大学大岡山キャンパス 工学院大学	63

(4) その他の事業(予定)

a) LCMD '98

(Japan-Korea Int'l. Symp. on LC Materials and Devices)に協賛。

日時: 1998年10月30 - 31日

場所: 東工大

b) 生体関連・リオトロピック液晶フォーラム

リオトロピック液晶の科学 -膜と紐- 超分子リオトロピック系の最近の話題 -

日時: 1998年11月27日 9-17時

場所: 理化学研究所

c) 物理・物性 研究フォーラム

「表面・界面における液晶の分子配向の物理 - 理論的取り扱いから測定手法まで -」

日時: 1998年11月19日(木) 20日(金)

場所: 九州大学国際ホール(福岡市東区九大箱崎キャンパス)

d) 液晶フォトンクス・光デバイス研究フォーラム

「液晶フォトンクスデバイスのフロンティア」

日時: 11月16日(月) 13:15~17:30

場所: 東京工業大学大岡山キャンパス百年記念館

2) 定期刊行物の編集・発行

a) 液晶	創刊号Vol.1 No.1	97ページ
	Vol.2 No.1	87ページ
	No.2	81ページ
	No.3	85ページ

3) 国際交流

a) 本会とアメリカのAdvanced Liquid Crystalline Optical Materials(ALCOM)との第1回講演会を1997年11月17日に日本化学会館で行った。「光と液晶の相互作用に基づく液晶分子配向とディスプレイデバイスへの応用」をメインテーマに、3名の国外講演者、日本側からも3名の講演者で、最近の研究動向について講演・議論があった。

b) 日本液晶学会が国際液晶学会(ILCS)のaffiliationメンバーに登録された。

4) 会員の増強

会員・普及委員会において入会のしおりの改訂、および会員増強のキャンペーンを実施した。

5) ホームページの開設およびメーリングリストの作成を行った。

## 2. 会 議

1) 通常総会	1 回
2) 評議員会	
3) 理事会	5 回
4) 役員選考委員会	2 回
5) 編集委員会	5 回
6) フォーラム主査会議	1 回

その他，各種事業を実施するために，各種委員会を随時開催した。

## 3. 会員の異動

### 会 員 数 (平成10年9月30日現在)

	国 内	外 国	計
正会員	782	20	802
学生会員	124	3	127
賛助会員	68	0	68
公共会員	3	1	4
合 計	977	24	1,001

## 4. 収支決算書

平成9年9月1日～平成9年12月31日

収入の部		金額(円)		支出の部		金額(円)	
科目	予 算 額	決 算 額	科目	予 算 額	決 算 額	科目	決 算 額
設立協賛金	16,026,070	13,386,000	設立準備費		1,417,862		
個人分	1,026,070	1,036,000	通信費		588,979		
企業分	15,000,000	12,350,000	印刷費		426,333		
寄付金	7,500,000	8,890,000	会合費		71,437		
液晶討論会	7,500,000	8,390,000	人件費		28,000		
液晶若手研究会		500,000	雑費		303,113		
雑収入		152,950					
当期収入合計	23,526,070	22,428,950	当期支出合計		1,417,862		
前期繰越金			当期収支差額		21,011,088		
			(次年度繰越金)				
収入合計	23,526,070	22,428,950			22,428,950		

## 2. 収 支 計 算 書

平成10年1月1日～平成10年8月31日

収入の部			支出の部		
		金額(円)			金額(円)
科目	予 算 額	8月31日現在	科目	予 算 額	8月31日現在
会費収入	7,000,000	10,519,100	編集費	11,044,000	8,510,474
正会員	6,400,000	5,688,900	会誌発行費	10,244,000	6,673,699
学生会員	600,000	242,700	会誌発送費		1,057,754
賛助会員		4,550,000	原稿料		540,000
公共会員		37,500	会議費	800,000	49,200
			旅費・交通費		82,640
			雑費		107,181
			講演会事業費	12,410,000	2,028,403
講演会事業収入	14,300,000	4,967,000	年会(討論会)	6,210,000	69,064
年会(討論会)	5,700,000	608,000	フォーラム研究会	2,700,000	500,000
フォーラム研究会	3,600,000		講演会	1,400,000	329,249
講演会	2,000,000	219,000	サマースクール	2,100,000	1,130,090
サマースクール	3,000,000	4,140,000			
			管理費	4,100,000	1,659,174
			通信費		235,296
			印刷費		471,341
会誌事業収入	3,500,000	2,731,265	会議費	1,100,000	44,805
別刷代収入		352,000	旅費・交通費		569,160
広告料収入	3,500,000	2,379,265	人件費		40,000
			業務委託費	3,000,000	0
雑収入		51,147	雑費		298,572
受取利息		11,147			
雑収入		40,000	積立金支出	19,500,000	18,104,138
			(法人化準備金)		
			予備費	1,272,070	0
当期収入合計	24,800,000	18,268,512	当期支出合計	48,326,070	30,302,189
前期繰越金	23,526,070	21,011,088	当期収支差額		8,977,411
収入合計	48,326,070	39,279,600		48,326,070	39,279,600

(平成10年8月31日現在)

### 3. 財 産 目 録

科 目	摘 要	金 額
<b>【流動資産】</b>		
預 け 金	日本学会事務センター	6,551,102
普 通 預 金	三和銀行 飯田橋支店	15,966,647
郵便振替	郵政省東京貯金事務センター口座	4,563,800
流 動 資 産 合 計		27,081,549
<b>資 産 の 部 合 計</b>		27,081,549
<b>【流動負債】</b>		
積立金		18,104,138
流 動 負 債 合 計		18,104,138
<b>【正味財産】</b>		
剰 余 金		8,977,411
正 味 財 産 合 計		8,977,411
<b>負債及び正味財産の部合 計</b>		27,081,549

#### 4.貸借対照表

(平成10年8月31日現在)

借方	金額	貸方	金額
I.流動資産		I.流動負債	
預け金	6,551,102	未払金	
普通預金	15,966,647	仮受金	
郵便振替	4,563,800	積立金	18,104,138
未収入金		II.正味財産	
仮払い金		次期繰越収支差額	8,977,411
		前期繰越収支差額	21,011,088
		当期収支差額	-12,033,677
合計	27,081,549	合計	27,081,549

## 5. 1999年度事業計画

### 1. 事業の状況

#### 1) 研究フォーラム・講演会・討論会などの開催(一部)

##### (1) 本部行事

##### 1) 1999年日本液晶学会サマースクール

開催地： 関東地区

開催日時： 1999年7月下旬～8月上旬の3日間

##### 2) 1999年日本液晶学会講演会

開催地： 富山

開催日時： 1999年9月～10月の1日

##### 3) 1999年日本液晶学会討論会

開催地： 富山

開催日時： 1999年9月～10月の3日間

##### 4) 1999年度の国際交流事業計画

###### 1. 共催事業

第2回JLCS - ALCOMセミナー (第2回はALCOMがオーガナイズ)

日時： 1999年2月中旬

場所： U.S.A. で開催予定

###### 2. 協賛事業

a) 液晶科学に関する日英共同セミナー '99

(Anglo-Japanese Seminar on Liquid Crystals '99)

British Liquid Crystal SocietyおよびThe British Councilとともに協賛。

日時： 1999年5月26日 - 28日

場所： 奈良で開催予定

##### 5) 各研究フォーラムの活動

1999年中に5回開催

#### 3) 定期刊行物の編集・発行

a) 液晶 (季刊) 年4回発行

### 2. 会議

- |              |     |
|--------------|-----|
| 1) 通常総会      | 1 回 |
| 2) 理事会       | 5 回 |
| 4) 編集委員会     | 4 回 |
| 5) 監事会       | 1 回 |
| 6) 企画委員会     | 2 回 |
| 7) 会員・普及委員会  | 3 回 |
| 8) 行事委員会     | 4 回 |
| 9) フォーラム主査会議 | 1 回 |

その他、各種事業を実施するため、運営委員会を随時開催する。

3. 収支予算書

平成11年1月1日～平成11年12月31日

収入の部			支出の部		
科目		金額(円)	科目		金額(円)
会費収入		11,900,000	編集費		10,100,000
正会員	900名×@8,000	7,200,000	会誌発行費		8,100,000
学生会員	200名×@3,000	600,000	会誌発送費		1,000,000
賛助会員	50社(80口)	4,000,000	原稿料		500,000
公共会員	10件×@10,000	100,000	会議費		500,000
講演会事業収入		15,300,000	講演会事業費		11,400,000
年会(討論会)	参加費(600名)	4,800,000	年会(討論会)		3,600,000
懇親会(150名)		900,000	フォーラム研究会		2,400,000
フォーラム研究会		3,600,000	テーマ講演会		1,800,000
テーマ講演会		2,000,000	サマースクール		3,600,000
サマースクール		4,000,000	管理費		7,625,350
会誌事業収入		3,800,000	通信費		300,000
別刷代収入	5件×@30,000×4回	600,000	印刷費		600,000
広告料収入	40件×@80,000	3,200,000	会議費		1,100,000
雑収入		50,000	雑費		200,000
受取利息	受取利息		業務委託費		5,425,350
雑収入	雑収入		積立金繰入		1,000,000
			予備費		924,650
当期収入合計		31,050,000	当期支出合計		31,050,000
収入合計		31,050,000			31,050,000